

### 松戸市長選挙 本郷谷氏の再選決まる 今度こそ偽りのない誠実な市政運営を求めて

松戸市長選挙が6月15日投開票で行われ、4人の候補による熾烈な戦いの末に、本郷谷氏が再選を果たしました。35.56%という低い投票率が示すもの、それは争点の分かりにくさと、市政への無関心さだといえます。今回の市長選挙において、一人の候補者以外は、400億円超の建設費になるとも一部で言われている松戸市立病院の移転を争点としませんでした。また、介護や福祉、教育に関する公約も、具体性に欠け、ぼんやりしたものが多く、市民の関心の高まりを呼べなかった理由でしょう。本郷谷氏には、これまでの失政の数々を謙虚に反省し、情報操作ばかりに頼らず、真摯な姿勢で行政運営にあたってもらえるよう強く望みます。



### 新京成沿線の駅で毎朝演説しています！

地域との対話と交流こそが政治の原点と考えるみのわ信矢は、毎朝、どこかの駅で街頭演説をしています。常盤平、八柱、五香、みのり台。そのどこかでお見かけの際は、ぜひお声がけください。みなさんからの声援を励みにがんばります！市政への要望なども、どうぞお伝えください！



### 強行採決で改正された「医療・介護促進法」 高齢者福祉低下と介護難民出現を防ぎます！

前号に続き、高齢者福祉のお話です。この原稿を書いている6月18日、いわゆる「地域医療・介護推進法」が国会で成立しました。高齢化がピークを迎える「2025年問題」を控え、介護や医療を根本から見直そうとするものですが、所得の高くない介護保険の利用者には厳しい内容となりました。

現在の統計では、2025年を超えると人口における高齢者の割合は低くなりますが、一方で人口そのもののさらなる減少も待ちかまえています。難題続きの中で、政府は地方分権の悪用とも見えるやり方で、市町村に負担を押し付けます。しかし、各地で暮らす高齢者への福祉を低下させることは許されません。介護の市町村格差が懸念される今こそ、地域が踏ん張る必要があります。みのわ信矢は介護のプロとして、松戸の高齢者の暮らしを全力で支え続けます！

#### 地域医療・介護推進法 介護改革のポイント

2015年4月	所得が低い高齢者の保険料の軽減の幅を広げる 特別養護老人ホームへの新規入居を原則として「要介護3」以上の方に限定
2015年4月以降	「要支援1・2」の通所・訪問介護サービス主体を市町村に移す
2015年8月	一定の所得がある人の負担割合を1割から2割へ 施設入居者向けの食事・部屋代補助を縮小へ

## 松戸市議会議員選挙は 11月16日投票です！



## みのわ 信矢 プロフィール

昭和42年 松戸市常盤平生れ  
昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業  
最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業  
家族構成 妻と子ども2人の4人家族

#### 市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

#### その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長
- ◇常盤平中学校PTA 会長 など

#### 趣味

- ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部